

平成30年度

教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価の結果報告書
(平成29年度事業対象)

美里町教育委員会

— 目 次 —

I	美里町教育委員会事務事業評価の基本方針	・ ・ ・ ・ ・	1 ～ 2
II	教育委員会議の開催状況及びその他の活動状況	・ ・ ・ ・ ・	3 ～ 5
III	事務事業外部評価点検・評価の結果		
	【学校教育点検・評価項目一覧表】	・ ・ ・ ・ ・	6
1	学力向上支援事業	・ ・ ・ ・ ・	7
2	学習支援員事業	・ ・ ・ ・ ・	8
3	心の教室、子どもと親の相談事業	・ ・ ・ ・ ・	9
4	学校図書館図書業務支援事業	・ ・ ・ ・ ・	10
5	小学校外国語指導事業	・ ・ ・ ・ ・	11
6	地域学校保健委員会補助金事業	・ ・ ・ ・ ・	12
7	学校部活動補助金事業	・ ・ ・ ・ ・	13
8	集団宿泊教室事業	・ ・ ・ ・ ・	14
9	芸術鑑賞補助金事業	・ ・ ・ ・ ・	15
10	学校施設整備事業	・ ・ ・ ・ ・	16
	【社会教育点検・評価項目一覧表】	・ ・ ・ ・ ・	17
11	人権教育推進協議会補助金事業	・ ・ ・ ・ ・	18
12	青少年育成町民会議補助金事業	・ ・ ・ ・ ・	19
13	放課後子ども教室事業	・ ・ ・ ・ ・	20
14	歴史探訪講座等の開催事業	・ ・ ・ ・ ・	21
15	美里町文化協会補助金事業	・ ・ ・ ・ ・	22
	【社会体育点検・評価項目一覧表】	・ ・ ・ ・ ・	23
16	美里町ナイター陸上記録会	・ ・ ・ ・ ・	24
17	中学校野球美里大会	・ ・ ・ ・ ・	25
18	町民体育祭	・ ・ ・ ・ ・	26
19	美里町駅伝競走大会	・ ・ ・ ・ ・	27
20	美里町新春霊台橋マラソン大会	・ ・ ・ ・ ・	28
21	宇城中学校新人駅伝大会	・ ・ ・ ・ ・	29

I 美里町教育委員会事務事業評価の基本方針

1. 概要

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果について報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することとなっております。

このようなことから、本町教育委員会でも効果的な教育行政の推進に資するとともに町民への説明責任を果たすため、外部評価委員会による教育委員会所管の事務事業の点検を行いました。

2. 点検・評価に当たっての基本的な考え方

- (1) 成果を重視した行政運営を行うため、事後評価を基本とする。
- (2) 評価の客観性、透明性を確保するため外部評価を行う。
- (3) 評価の対象・方法は、毎年度見直しを行う。

3. 点検・評価の対象

(1) 教育委員会の活動状況

- ① 定例及び臨時教育委員会の会議状況
- ② その他の活動状況

(2) 教育委員会の所管する事務事業

教育委員会が所管する事務事業について教育委員会事務局で協議し、教育委員会で選定する。

4. 点検・評価の手順

- (1) 教育委員及び教育委員会事務局による自己評価
- (2) 外部評価委員による評価
- (3) 報告書の作成
- (4) 教育委員会で報告書の作成
- (5) 議会への提出及び公表

5. 学識経験者の知見の活用

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 27 条第 2 項の規定により有識者の知見の活用については、点検・評価（自己評価）の結果については、学識経験者を含む 5 名の外部評価委員に、対象事業についてのご意見をいただきました。

外部評価委員名簿

屋 形 康 廣	船 原 千 廣	野 尻 絹 子
長 木 高 義	吉 住 大 輔	

6. 教育委員会としての今後の方向性

担当課自己評価に対する外部評価委員のご意見等を踏まえ、最終的に教育委員会として今後の方向性を下記5つの中から選択しました。

拡 充	事業規模・内容をより拡大・充実し継続すべき事務事業
維 持	概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
縮 小	現在の方向性でよいが、事務規模については縮小方向で改善していくべき事務事業
改 善	現在の方向性から見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
完 了	完了した事務事業

(参考)

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」抜粋

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務職員等に委任された事務を含む）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

Ⅱ 教育委員会議の開催状況及びその他の活動状況

1 教育委員会議

美里町教育委員会会議は、毎月 1 回の定例会のほか、必要に応じ臨時会を開催しています。

この会議において、5 名の教育委員（教育長 1 名を含む）が教育行政の基本方針や教育委員会の規則等の制定改廃など、会議において議決を要する事項について次のとおりです。

平成 29 年度の教育委員会議の開催状況は次のとおりです。

期 日	場 所	議 決 事 項 等
平成 29 年 4 月 24 日 (定例会)	中央庁舎 第 1 会議室	・美里町招致外国青年任用規則の一部改正について ・美里町立小中学校の主任等の任命について ・平成 29 年度美里町学校教育取り組みの方向について(協議) ・平成 29 年度美里町社会教育取り組みの方向について(協議)
平成 29 年 5 月 23 日 (定例会)	中央庁舎 第 1 会議室	・美里町学校給食調理業務等委託検討委員会設置要綱の制定について ・学校訪問実施要項、指導の視点(案)について(協議)
平成 29 年 6 月 23 日 (定例会)	中央庁舎 第 1 会議室	・平成 29 年度就学指導委員会にかかる就学答申について ・美里町社会教育委員の委嘱について ・美里町公民館運営審議会委員の委嘱について ・美里町スポーツ推進委員の委嘱について
平成 29 年 7 月 18 日 (定例会)	中央庁舎 第 1 会議室	議決事項なし ・諸報告
平成 29 年 8 月 3 日 (臨時会)	中央庁舎 教育長室	・美里町教育委員会職員の懲戒処分について ・平成 30 年度使用小学校教科用図書の採択について
平成 29 年 8 月 21 日 (定例会)	中央庁舎 第 1 会議室	・美里町心の教室相談員等に関する規程の一部を改正する規則の制定について ・美里町教育委員会外部評価委員会委員の委嘱について ・美里町小学校運動部活動社会体育移行検討委員会委員の委嘱について

平成 29 年 9 月 25 日 (定例会)	中央庁舎 第 1 会議室	・平成 29 年度就学指導委員会における就学答申について ・美里町教育委員会教育長の職務代理に関する規則の制定について
平成 29 年 10 月 25 日 (定例会)	中央庁舎 第 1 会議室	・美里町学校給食食物アレルギー対応実施要綱の制定について ・美里町指定文化財(椿のもちの木)の指定解除について
平成 29 年 11 月 20 日 (定例会)	中央庁舎 第 1 会議室	・平成 29 年度美里町就学指導委員会における就学答申について ・美里町体育館施設条例施行規則の一部を改正する規則の改正について ・美里町教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価の決定について
平成 29 年 12 月 20 日 (定例会)	中央庁舎 第 1 会議室	・美里町中学校統合審議会答申について ・平成 29 年度就学指導委員会における就学答申について
平成 30 年 1 月 23 日 (定例会)	中央庁舎 第 1 会議室	・平成 29 年度就学指導委員会における就学答申について ・美里町就学援助費「要保護準要保護児童生徒」の認定について
平成 30 年 2 月 23 日 (定例会)	中央庁舎 第 1 会議室	・第2次美里町教育振興基本計画の策定について
平成 30 年 2 月 25 日 (臨時会)	中央庁舎 教育長室	・平成 30 年度教職員人事異動について
平成 30 年 3 月 20 日 (定例会)	中央庁舎 第 1 会議室	・平成 29 年度就学指導委員会における就学答申について ・美里町就学援助費「要保護準要保護児童生徒」の認定について ・美里町立小中学校評議員の委嘱について ・美里町招致外国青年任用規則の一部を改正する規則の制定について ・美里町学校給食調理業務等委託評価委員会設置要綱の制定について

2 その他の活動状況

平成 29 年度における、その他主な活動は次のとおりです。

- ・ 中学校統合審議会
- ・ 九州地区市町村教育委員会研修大会
- ・ 熊本県市町村教育委員大会
- ・ 宇城市町教育委員全員研修会
- ・ 各小中学校訪問
- ・ 各小中学校入学式・卒業式
- ・ 各小学校運動会、各中学校体育大会、文化祭（学習発表会）
- ・ 町成人式典
- ・ 美里町教育の日講演会
- ・ 美里町文化祭
- ・ 町民体育祭他各種イベント事業への出席

美里町教育委員会委員名簿

（平成 30 年 4 月 1 日現在）

職 名	氏 名	任 期
教 育 長	吉 永 公 力	平成 28 年 12 月 23 日～平成 31 年 12 月 22 日
教育長職務代理者	高 田 幸 也	平成 27 年 12 月 23 日～平成 31 年 12 月 22 日
委 員	松 本 富美代	平成 29 年 12 月 23 日～平成 33 年 12 月 22 日
委 員	早津田 直 子	平成 26 年 12 月 23 日～平成 30 年 12 月 22 日
委 員	佐々木 聡	平成 28 年 12 月 23 日～平成 32 年 12 月 22 日

Ⅲ 事務事業外部評価点検・評価の結果

事務事業外部評価点検・評価項目

番号	担当係	事業名	事業内容	決算額
1	学校教育係	学力向上支援事業	児童生徒の学力向上支援のため教師の指導力向上を高めることを目的とする。	2,800,800
2	学校教育係	学習支援員事業	特別支援学級及び通常学級において、さまざまな個性をもった児童生徒に、学級の担任と協力し学習支援を行う。	18,446,268
3	学校教育係	心の教室、子どもと親の相談事業	悩みや不安を抱える児童生徒及び保護者に対し、気軽に相談できる環境づくりに努める。	1,935,942
4	学校教育係	学校図書館図書業務支援事業	各学校図書館の業務支援のため、図書司書補等を配置し、児童生徒の学習の基礎となる読書活動支援を図る。	6,840,000
5	学校教育係	小学校外国語指導事業	児童が英語に接し、低学年から英会話能力を身につけることで、国際化社会に対応する人材を育成する。	2,577,600
6	学校教育係	地域学校保健委員会補助金事業	学校、地域、家庭の連携のもと、子どもの健康な生活と教育の推進を図るため、中学校区で委員会を設置し活動する。	79,974
7	学校教育係	学校部活動補助金事業	児童生徒が協調性、責任性、連帯感を育成し、豊かな人間性を培う部活動における経費の一部を補助する。	918,000
8	学校教育係	集団宿泊教室事業	児童生徒が集団生活を通して基本的な行動様式の定着や野外活動を通じて心身の鍛錬に努める事業に補助する。	350,230
9	学校教育係	芸術鑑賞補助金事業	演劇を鑑賞することによって、心身の調和のとれた発達と人間としての生き方について自覚を深める事業に補助する。	327,776
10	学校教育係	学校施設整備事業	計画的に学校の維持補修等を行うことで、児童生徒等の安全を守り、安心で豊かな教育環境を整備する。また、地域住民の安全と安心の確保に努める。	30,555,616

平成29年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	学力向上支援事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・児童・生徒の学力向上支援のため教師の指導力向上を高めることを目的とする		
活動内容	①美里町第2次教育振興基本計画(2018年度～2022年度)の策定作業(数回にわたる事務局会議及び策定会議により原案作成等、教育委員会から教育振興基本計画策定委員への諮問、策定委員会の策定委員10名への委嘱、3回にわたる策定委員会による審議、教育委員会への答申、教育委員会で審議後に制定、町議会への説明) ②教育審議員による定期的な授業改善指導訪問 ③学校の校内研修の研究授業参観と授業研究会での助言 ④教育委員会学校訪問における学校との打ち合わせ及び訪問時の全体会での指導・助言 ⑤美里町「教育の取組の方向」、「学力向上アクションプラン」の策定 ⑥学期ごとの学力向上アクションプランの点検・評価(毎学期) ⑦教育委員会議、町内校長会議での学力充実等の説明 ⑧美里町学力向上推進委員会の取組の充実(年間2回の全体会、年間2回の中学校校区ごとの小中連携授業改善研修会の開催) ⑨「教育美里」の発行(授業改善や教育動向の啓発、教育課題や教育資料の紹介など、第90号～102号の年間13号の発行) ⑩「全国学力学習状況調査」や「県学力調査結果」の分析・考察と各学校への情報の提供 ⑪宇城地区指導主事・教育審議員等連絡会への参加 ⑫宇城地区教育論文・実践記録の第1次審査を担当		
予算額 決算額	予算額 2,801,000 円	決算額 2,800,800 円	
担当課 自己評価	●平成29年度における学力向上支援事業の最も重要な取組は、第2次教育振興基本計画の策定作業であった。 ●第2次教育振興計画の策定については、時間と労力を要したが、策定会議や策定委員会による審議を通して、策定作業を完了し、制定することができた。完成した基本計画は、町議会議員、町内各学校職員に配布すると共に、そのリーフレットについては各種団体等にも配布し、また、町のホームページにも掲載し、共有できるようにした。今後は、その推進に取り組み、美里町の教育を充実させていきたい。 ●学力充実については、年度ごとの「美里町学校教育取組の方向」及び「美里町学力向上アクションプラン」を設定し、学力向上支援に取り組んだ。 ●H29年12月実施の熊本県学力調査では、各学年の各教科を総合した定着率の平均では、小学校、中学校とも県平均を上回った。教科別では、小学校国語で県平均をやや下回ったものの、算数は県平均を4.4%上回った。中学校では、社会が県平均をやや下回ったが、他の4教科は上回ることができた。特に、中学校の英語は県平均を9.8%も上回り、ここ数年高い数値となっている。 ●学力向上については、本町の一つの重要な教育課題であり、引き続き教師の指導力や資質の向上を図りながら、課題解決に向けて取り組む必要がある。		

(外部評価委員の意見)	
・第2次教育振興基本計画については、外部の有識者への会議などを実施し手順をふまえながら作成されるのは大変な作業だったと思います。ただ、学力向上のための教育審議員の役割の範疇を超えた内容であり、本来であれば教育長を補佐する役職を設け、その方が担当するべき内容だと思います。また、内容をみると担当課での検討が不足しているものもあるように感じられます。担当課も通常の業務をしながらの見直しは時間が十分にとれないのが実情だとは思いますが、生涯学習と社会教育という言葉が混同されやすい示し方や、そもそも事業の在り方が課題ではないかと思われるものが成果指標になっているようなものも見受けられます。日頃から目標として取り組み内容が適切なのか事業をスクラップ＆ビルドする意識をもつシステムをもう少し強くする必要があるのではないかと思います。 ・最近、塾に行っている子供も多くいると聞きます。学力調査の結果は評価できますが、今後とも、学力向上のために色々な支援をお願いしたい。 ・学力向上の為のプラン、取り組みがきちんとなされている成果が、学力調査結果にも現れており、担当課・学校の連携した取り組みに敬意を表したい。 ・未来を担う児童・生徒の学力向上は学校教育の最重要課題であるだけに、活動充実のためもう少し予算拡充が望ましい。 ・先生方への指導助言、基本計画の策定、児童生徒の学力向上計画を設定して、課題解決に向け積極的な支援に取り組まれていると思います。	

外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

平成29年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	学習支援員事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・特別支援学級及び通常学級において、さまざまな個性をもった児童生徒に対し、一人一人の教育ニーズに応じた指導を、学級担任と協力して学習支援を行い自立できるよう支援する。		
活動内容	・町内4校の小・中学校において、学習支援員(外国語指導助手、医療的支援含む)9名の非常勤職員を配置し、特別支援学級(砥用小3学級・中央小2学級・砥用中1学級・中央中2学級)や通常学級で学級担任と協力し、取り出し指導等を行った。 ・児童生徒の問題解決のための研修会を実施した。 H29.8.2「児童生徒のカウンセリング」について 宇城教育事務所 原田 則代 スクールカウンセラー		
予算額 決算額	予算額 18,466,000 円	決算額 18,446,268 円	
担当課 自己評価	担任以外に非常勤職員を配置することにより、発達障がいを含む障がいのある児童生徒や特別な配慮を必要とする児童生徒に対して、よりきめ細かな適切な教育的支援を図ることで児童生徒の自立に繋がっている。		

(外部評価委員の意見)

・個に応じた指導ができる体制作りは、インクルーシブ教育の推進等、とても大切だと思います。しかしながら、学習支援員は授業をすることができないので、取り出し指導ができません。学習支援員の中で資質・能力を有した方を講師とすることが最も効果的で有ると思います。

・きめ細やかな教育ができて、児童・生徒のためだけでなく、教師のためにも良い事業だと思います。

・障がいのある児童生徒や特別な配慮を必要とする児童生徒のニーズに応じた指導を行うためには、学習支援員の研修機会がもう少しあった方がよいと思われる。毎日の多忙な学校業務の中で困難と思いますが。

・特別な配慮支援を必要とする児童・生徒にとって寄り添ってくれる先生がいることは心強いこと。様々な気持ちをもった子どもたちに接する先生方には研修等を通して指導向上に努めていただきたい。

・特別支援、通常学級ともに支援は必要であり、担任との協力でひとりひとりの児童生徒への学習の向上につながる事業であると思います。

・児童生徒数の減少により、複式学級編成となった場合、子どもたちの学力低下を防ぐためにも、学習支援員を加配する必要があると思われます。

外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

平成29年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	心の教室、子どもと親の相談事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・悩みや不安を抱える児童生徒及び保護者に対し、気軽に相談できる環境づくりに努める。		
活動内容	・小学校2校(砥用小、中央小)、中学校2校(砥用中、中央中)にそれぞれ1名を配置し、人間関係や生活習慣等に悩みや不安を抱える児童生徒及び保護者に対し、気軽に相談できる環境づくりに努めた。 ・小学校勤務の子どもと親の相談員の勤務時間を、年間325時間から480時間(155時間増)にしたことにより、よりきめ細かな支援ができた。 ・児童生徒の問題解決のための研修会を実施した。 H29.8.2「児童生徒のカウンセリング」について 宇城教育事務所 原田 則代 スクールカウンセラー		
予算額 決算額	予算額 1,936,000 円	決算額 1,935,942 円	
担当課 自己評価	悩みや不安を抱える児童生徒及び保護者に対し、気軽に相談できる環境づくりに努め、保護者と連携強化を図ったことで、悩みや不安の軽減あるいは解消につながっている。 平成28年熊本地震による中長期的な心のケアが必要な児童生徒が多数いたため、本年度も個人面談をすることによって、一人一人の状況把握とケアを行うことができた。		

(外部評価委員の意見)	
・子どもの悩みや不安に担任以外で相談できる環境づくりは大切だと思います。しかしながら、保護者からの相談にどのくらい対応できているのか、いささか疑問です。保護者が相談しやすい体制づくりとして勤務時間を柔軟にしたり、家庭に出向くことができるようにしたりする等の勤務形態の改善や、学級懇談会で親の学び講座を実施して保護者と顔見知りになるようにしたりするための研修なども必要ではないかと考えられます。 ・悩みや不安を抱える児童生徒及び保護者は、多くなっていると思います。必要な事業だと思います。 ・保護者からの相談件数が少ないようですが、気軽に相談できる環境づくりに引き続き努めて貰えればと思います。 ・子どもの心のケアについては、教師と異なる立場で話を聞くことができる人がいることは意義がある。相談員の勤務時間が長くなったことで、よりきめ細やかな対応が期待できると考える。 ・児童生徒保護者への相談時間も延長され、いつでも気軽に相談できる体制が整ってきており、悩み不安解消につながっていると思います。	

外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

平成29年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	学校図書館図書業務支援事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・各小中学校図書館の業務支援のため、学校図書管理員を配置し、児童生徒の学習の基礎となる読書活動支援を図る。		
活動内容	・各小中学校図書館へ非常勤の学校図書管理員(各学校1名で計5名)を配置し、学校図書館の整理や児童生徒の図書利用の拡大を図る為の年間取組計画(各学校教育諸計画の図書館教育)の作成や、図書活動支援を行った。 ・本年度より低用小学校勤務の学校図書管理員を学校図書指導員とし、各小中学校の図書指導巡回を行った。 ・学校図書管理員の資質向上を図る為の研修会に参加した。		
予算額 決算額	予算額 6,840,000 円	決算額 6,840,000 円	
担当課 自己評価	学校図書館の業務は、児童生徒の読書活動支援に不可欠であり、主体的学習を援助し、図書館の整理、保管に必要な業務である。 また、職員自身も司書資格を取得するなど自己研鑽をはかり、現在司書2名、司書補1名となり、図書利用をさらに進める体制が確立している。		

(外部評価委員の意見)	
・学校図書館は子どもの学習環境づくりとしてとても大きな役割を担ってきています。担当者の職名を学校司書(司書資格が無い場合は学校司書補)とすることで学校図書館法に示された役割を担うことが明確になると思います。 ・児童・生徒の読書活動を進めるために、図書管理員の方も頑張っておられる様で、期待しています。 ・図書館を教育活動、学習活動の有効活用を図る意味で、学校図書指導員による図書指導巡回はとてもよい企画だったと思います。 ・これからも児童生徒のために、読書支援活動支援を継続していただきたい。 ・図書の整理、図書利用の拡大、年間取組計画等により児童生徒の読書活動支援に必要な業務になっていると思います。また、資格取得の支援も必要ではないか。	

外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

平成29年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	小学校外国語指導事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・低学年から英語に接し、英会話能力を身につけることで、国際化社会に対応する人材を育成する。		
活動内容	・小学校の1年生から4年生を対象に、非常勤の外国語指導助手2名(1名は学習支援員を兼任)を配置する。担任と協力し、楽しく基本的な英語活動を行う中で、コミュニケーション能力の育成を図る。また、5・6年生に関しては、外国語指導助手が担任の助手として授業に参加し、学習指導要領に定められた外国語活動を行うことで、外国語の発音や基本的な表現に慣れ親しませながら、中学校英語教育の素地を養う。 ※新学習指導要領による外国語科(5、6年生)、外国語活動(3、4年生)は平成30年度より先行実施		
予算額 決算額	予算額 2,578,000 円	決算額 2,577,600 円	
担当課 自己評価	英語を通じて、外国の言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育っている。		

(外部評価委員の意見)

- ・今後の社会を生きる力として英語の習得はとても大切だと思います。
- ・低学年で、英語に親しみを持ってもらう事が大切だと思います。必要な事業です。
- ・小学校低学年から英語にふれることは意義があり、今後も継続していくことが必要と考える。
- ・低学年から外国語の発音、表現力に慣れ親しむことにより文法を重視せず、コミュニケーション能力を育成することができ、外国語力の向上につながると思います。

外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

平成29年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	地域学校保健委員会補助金事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・学校、地域、家庭の連携のもと、中学校区で設置された学校保健委員会により、児童生徒の健康な生活と教育の推進を図る。		
活動内容	・各中学校区において地域学校保健委員会を設置し、学校、地域、家庭の連携のもと、児童生徒の健康な生活と教育の推進を図った。 砥用地区：51名（すこやか委員会） 中央地区：41名（はぐくみ委員会） ・教育講演会を両地域学校保健委員会、美里町PTA連合会とで合同開催した。 ・中央中校区において、委員会内下部組織に保小中連携部会を設置し、講演会を開催した。		
予算額 決算額	予算額 80,000 円	決算額 砥用地区 中央地区	40,000 円 39,974 円
担当課 自己評価	地域内の学校保健に関する問題点の解明に関係機関との連携を密にし、児童生徒の豊かな健康生活の向上に寄与している。		

（外部評価委員の意見）

・幼、保、学校、行政、地域が連携して子どもの健やかな成長を資する取り組みを行うのはとても意義があると思います。成果指標として、子どもの就寝時刻の設定などがあると成果の見える化ができると思います。

・地域との連携のもと、更に児童・生徒の健康生活向上のために必要だと思います。

・啓発活動のみならず、実践がどれほど試されているのかの検証も必要かと思います。

・町全域で児童生徒への健康な生活環境を向上させることが大切。これからも学校統合を視野に置いて児童生徒の健康生活向上に努めていただきたい。

・中学校区における二地区で設立されており、学校、地域、家庭で連携して、児童生徒の健康な生活環境及び教育環境の推進が図れるものと思います。

外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

平成29年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	学校部活動補助金事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・児童生徒が協調性、責任性、連帯感を育成し、豊かな人間性を培う部活動における経費の一部を補助する。		
活動内容	・砥用小(2部) 54,000円補助(27,000円×2部) 男子総合運動部12人、女子総合運動部12人 ・励徳小(2部) 54,000円補助(27,000円×2部) 男子総合運動部27人、女子総合運動部12人 ・中央小(2部) 54,000円補助(27,000円×2部) 男子総合運動部22人、女子総合運動部18人 ・砥用中(6部) 378,000円補助(63,000円×6部) 野球部19人、サッカー一部29人、柔道部13人、剣道部14人、陸上部35人、バレー部16人 ・中央中(6部) 378,000円補助(63,000円×6部) 野球部16人、テニス部17人、サッカー一部17人、バレー部16人、文化部13人、陸上部12人 ※小学校はH30年度より社会体育へ移行		
予算額 決算額	予算額 918,000 円	決算額 918,000 円	
担当課 自己評価	部活動をととして、体力の向上と技能の習熟を図るとともに、生涯にわたってスポーツに親しむ資質や能力を育むため必要であり、保護者の経済的負担軽減につながっている。		

(外部評価委員の意見)

・中学校における保護者の負担軽減として現状を維持していくことは必要だと思います。小学校については部活動補助は無くした方が部活動廃止が明確になると思います。水泳記録会や陸上記録会参加のために必要な経費は別費目にした方が良いでしょう。

・部活動には、色々経費が必要です。保護者の負担軽減のために必要な事業だと思います。

・小学校は部活動が社会体育に移行することに伴い見直し検討が必要。

・縮小には、なると思いますが、これからの移行後の子どもの体力低下も考えられますので、今後何らかの対策を検討する必要があると思います。

外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

平成29年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	集団宿泊教室事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・児童生徒が集団生活を通して基本的な行動様式の定着や野外活動を通じて心身の鍛錬に努める事業に補助する。		
活動内容	・中学校1年生、小学校5年生を対象に少年自然の家等を利用し、集団生活を通して基本的な行動様式の定着を図るとともに、野外活動を通じて心身の鍛錬を行った。 砥用小学校:あしきた青少年の家 励徳小学校:あしきた青少年の家 中央小学校:あしきた青少年の家 砥用中学校:豊野少年自然の家 中央中学校:豊野少年自然の家 ・町補助(1人当たり3,000円予算)にて事業実施、一部学級費を使用		
予算額 決算額	予算額 小学校 204,000 円 中学校 147,000 円	決算額 小学校 203,590 円 中学校 146,640 円	
担当課 自己評価	集団生活を通して基本的な行動様式が図られている。		

(外部評価委員の意見)

- ・家庭の状況にかかわらず集団活動に参加できる環境づくりは必要と考えます。
- ・必要な事業だと思いますが、町内の施設を利用しても良いのではないかと思います。
- ・地震後の研修施設の状況をお聞きますと、より事前の調査・計画・準備が必要ではないかと思いました。
- ・学校では得られない貴重な体験ができる機会であり継続。
- ・集団生活、集団行動により子どもたちの連帯感、相手を思いやる心を作ることができるものと思います。

外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

平成29年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	芸術鑑賞補助金事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・演劇を鑑賞することにより、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活を構築する自主的、実践的な態度を育てるとともに自己を生かす能力を養う。		
活動内容	・小中学校で実施する演劇鑑賞の事業に対して経費の補助を行う。 砥用小学校：白百合学園吹奏学部（県の事業「いきいき芸術体験教室」にて実施） 励徳小学校：白百合学園吹奏学部（砥用小学校と合同） 中央小学校：劇団「民話芸術座」・・・民話劇『花咲き山』 砥用中学校：劇団「民話芸術座」・・・民話劇『鬼の小づち』 中央中学校：未実施 ・町補助（1人当たり1,000円予算）にて事業実施		
予算額 決算額	予算額 小学校 203,000 円 中学校 125,000 円	決算額 小学校 202,776 円 中学校 125,000 円	
担当課 自己評価	小中学校で実施する演劇、音楽鑑賞等の優秀な文化・芸術に親しみ、また、触れる機会を提供し、感性や教養、「豊かな心」の育成につながっている。		

（外部評価委員の意見）

・子どもが文化・芸術にふれる機会は大切だと思います。児童数が少なくなることにより予算も縮小していきませんが、学校間の連携や県や国の事業を活用したりする等の工夫も行いながら、よりよい芸術にふれる機会をつくっていくことが必要ではないかと思います。

・本物の演劇、音楽鑑賞ができる良い機会なので、必要な事業だと思います。

・芸術鑑賞は、感性を磨き、教養を高め、豊かな心を育成する機会であるので、出来るだけ実施されないことがないように努力してもらいたい。

・自分の知らない分野に触れることで、児童生徒が将来なりたい自分を見つけるきっかけになると考える。予算の範囲内で継続してもらいたい。

・子どもたちの人間性を磨き上げるうえで必要な事業であり、一人一人の感性を養うために今後も実施していただきたいと思います。

外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

平成29年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	学校施設整備事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・建設後20年を経過する校舎や屋内運動場等もあり、安全面をはじめ環境衛生面、地域の避難施設等の観点から施設の維持補修や改修工事を計画的に実施し、適切な維持管理に努める。		
活動内容	砥用小学校:特別支援教室設備改修工事 教室棟テラス改修工事 中央小学校:給食調理室空調設置工事 硝子入替工事 中央中学校:特別支援教室設備改修工事 施設修繕工事 小学校(震災分):平成28年熊本地震による励徳小学校土地災害復旧工事		
予算額 決算額	予算額 小学校 21,307,000 円 中学校 3,780,000 円 小学校(震災分) 5,500,000 円	決算額 小学校 21,305,660 円 中学校 3,755,027 円 小学校(震災分) 5,494,929 円	
担当課 自己評価	学校施設は、児童生徒等の学習・生活の場であり、公教育を支える基本的施設であるとともに、地域住民にとっては、身近な公共施設として、また、災害発生時の避難場所ともなる施設として重要な役割を担っている。 計画的に学校の維持補修等を行うことで、児童生徒等の安全を守り、安心で豊かな教育環境が整備できている。また、地域住民の安全と安心の確保に繋がった。		

(外部評価委員の意見)

- ・猛暑による教室の状況は児童生徒や教職員の健康維持に問題な状況がある。設置費用、維持費用が大きな財政負担となると思われるが、より効率的、効果的な方法を考慮しながら取り組みを進めていただきたい。
- ・施設の維持補修は、計画的に行う必要があります。中央中学校、砥用中学校については、統合も考えながら進めてほしいと思います。1日も早く、エアコンの設置を望みます。
- ・児童生徒の安全面、衛生面を第一に学校統合も視野にいれて事業を行っていただきたい。小中学校へのエアコン設置については迅速に対応してもらいたい。
- ・補助事業を取り入れ一般財源を少なくして、今後とも施設の充実に、子どもたちの安全確保に努力していただきたいと思います。
- ・学習環境整備は、すべての児童生徒が安心して学校生活を送り、様々な活動に取り組むことができる環境づくりが必要である。

外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

事務事業外部評価点検・評価項目

番号	担当係	事業名	事業内容	決算額
1	社会教育係	人権教育推進協議会補助金事業	町内における人権教育の推進を図ることを目的とする。	100,000
2	社会教育係	青少年育成町民会議補助金事業	青少年問題の重要性に鑑み広く町民の総意を結集し、次世代を担う青少年の健全な育成を図る	256,000
3	社会教育係	放課後子ども教室事業	放課後等において、小学校の施設等を使用し、子どもたちの安心・安全な活動拠点を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に勉強・スポーツ・文化活動など、地域住民との交流活動等の機会を提供することにより、子どもたちが地域社会の中で心豊かに健やかに育まれる環境づくりを推進する。	932,632
4	社会教育係	歴史探訪講座等の開催事業	石橋をはじめとする多種多様な文化財を活用し、郷土の歴史・文化に対し理解と関心が高まるよう歴史探訪講座(生涯学習講座)や説明会・研修会を開催する。	30,000
5	社会教育係	文化協会補助金事業	町内各文化関係団体相互の連絡調整を図るとともに、本町文化振興に寄与する。	325,000

平成29年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	人権教育推進協議会補助金事業	担当課	社会教育課 社会教育係
事業目的	町内における人権教育の推進を図ることを目的とする。		
活動内容	人権教育の研究と実践及び各種研修会の開催と各種研修会への派遣。 人権教育の研究と実践については、平成29年7月の総会時に講師として豊野コミュニティーセンター指導員 岡 早百合さんをお招きし講話を実施した。 各種研究会への派遣については、平成29年8月の第44回宇城地区人権教育研究大会分科会への参加要請を行った。 各種研修会の開催については、平成30年2月に行政職員を対象とした人権教育研修会を講師として部落解放同盟熊本県連合会豊野支部長 岡 潤爾さんをお招きし研修会を実施した。 また、町人権教育推進協議会（行政職員を除く）の委員を対象に研修会を実施した。講師に元菊池市地域人権教育指導員 糸岡 勇二さんをお招きし研修会を実施した。		
予算額 決算額	100,000 円	決算額	100,000 円
担当課 自己評価	部落差別をはじめ、様々な人権問題について学び、学習を通じて正しい知識や豊かな人権感覚を身につけることができると考えている。 総会資料を精査した結果、予算については適正に執行されており、行事等も、事業の目的達成のために活動されている。予算額の大部分を補助金が占めており、補助金については現状維持が望ましいと考えている。 また、行政職員を対象とした人権研修会については、部落差別解消法や障害者差別解消法の法律の施行に伴う研修内容を計画したい。		

（外部評価委員の意見） ・人権についての様々な研修を通じて、町民の多くの方に人権問題を啓発していくことが、望まれると思います。 ・様々な人権問題があり、多くの方に人権教育への参加を呼びかけることが重要であるとする。 ・様々な人権問題について工夫をして、成果をあげてほしい。必要な事業だと思います。 ・人権教育は社会の根幹に据える教育としてとても大切であると思います。総務課が所管している人権擁護員の方々と連携しながら取り組みを進めていく必要があると思います。	
---	--

外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

平成29年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	青少年育成町民会議補助金事業	担当課	社会教育課 社会教育係
事業目的	青少年問題の重要性に鑑み広く町民の総意を結集し、次世代を担う青少年の健全な育成を図る。		
活動内容	補導部会と育成部会に分けて活動を行っており、補導部会は毎月1回の巡回指導とふるさと祭り、やまびこ祭りの巡回指導を実施した。また、学校の各学期末には会議を開催して、町内小中学校及び近隣の高等学校の生徒指導の先生と情報交換を行った。 育成部会については、青少年に自然のすばらしさ、友とのふれ合い・地域の人との交流により、思いやりを持った子どもの育成を図ることを目的として、さくら健康フェスタの共催や町PTA連合会で取り組んでいる子ども110番事業に対し、広報用マグネットシートの購入補助を実施した。		
予算額 決算額	予算額 256,000 円	決算額 256,000 円	
担当課 自己評価	総会資料を精査した結果、予算については適正に執行されており、行事等も多岐にわたり、事業の目的達成のために活動されている。予算額の大部分を補助金が占めており補助金については現状維持が望ましいと考えている。 また、子ども110番事業については、町PTA連合会と設置個所の情報を共有化し、地域の犯罪予防に努めていきたい。		

(外部評価委員の意見)	
・補導部会では、非行防止の観点から祭り等における巡回指導、各学校との情報交換、育成部会では、共催事業、子ども110番事業への購入補助、多岐にわたり活動されており、これからの益々の充実が求められるものと思います。 ・スマホ依存が進む現代において、ネットやSNS等における青少年問題への対応についての啓発や教育事業にも取り組んでもらいたい。 ・今後も、子ども110番事業推進のために適する資材があれば、前向きに考慮をお願いしたい。 ・補導部会・育成部会、共に頑張っておられる現状を、多くの町民に知ってほしいと思います。 ・現状として児童生徒が街頭で非行を行うことは少なくなっていると思われます。一方、砥用中学校では西日本豪雨をうけて、生徒たちが主体的に募金活動を行っていました。非行を取り締まるという視点だけでなく、善行を認め、褒めるという視点もあってよいのではないのでしょうか。子どもが地域に認められる経験をする事は、地域を愛する子どもの育成にもつながると考えます。	

外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

平成29年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	放課後子ども教室事業	担当課	社会教育課 社会教育係
事業目的	放課後等において、小学校の施設等を使用し、子どもたちの安心・安全な活動拠点を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に勉強・スポーツ・文化活動など、地域住民との交流活動等の機会を提供することにより、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。		
活動内容	町内全小学校において実施(3小学校) [中央小:児童(1年～3年)23人、スタッフ:9人、水曜日・金曜日実施]たき火、宿題指導、昔遊び、木工体験、石窯クッキーづくり、季節の行事等 [励徳小:児童(1年～6年)29人、スタッフ:19人、月曜日・水曜日実施]読み聞かせ、宿題指導、昔遊び、ドッジボール、3B体操、豊野少年自然の家出張講座、太極柔力球等 [砥用小:児童(2年～6年)]38人、スタッフ:7人、火曜日・水曜日・木曜日(火・木は算数教室、水は表現教室)		
予算額 決算額	予算額 933,000 円	決算額 932,632 円	
担当課 自己評価	核家族化や地域の繋がりの希薄化や共働き世帯の増加する現状で子どもたちの居場所づくりを地域住民の方々に参画して行う良い事業だと考えている。また、児童の学力やコミュニケーション能力の向上及び地域住民の生きがいづくりにも繋がっていると考えている。 スタッフ数が減少しているため、今後はスタッフを確保する必要がある、スタッフの発掘と共に後継者の必要があると考えている。		

(外部評価委員の意見)	
・スタッフの充実も必要であると思います。また、共働き世帯が多くなり核家族化が増え、夕方までの子どもの居場所づくり、子ども同士の連帯感づくりにも貢献できていると思います。 ・小学校の部活動廃止に伴い、放課後の子どもたちの居場所として、また学校・家庭のみでなく、地域が子どもを育てていく中心となる事業だと考える。スタッフ数が足りないという問題もあるが、高学年の児童また中学生を受け入れ、低学年をみるということは一つの方法ではないかと考える。 ・スタッフが確保できれば、開催日を増やして、子ども達の居場所確保に繋がられる。 ・学校・家庭・地域が協力して、子どもたちを育てる事が大切です。スタッフは、大変だと思いますけど、頑張っていたきたいです。先生方も協力してほしいと思います。 ・課題は協力者の確保ですが、住んでいる地域や家庭の経済力にかかわらず、子どもが放課後に学んだり、様々な体験をしたりすることができるために本事業を継続していく必要があると考えます。	

外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

平成29年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	歴史探訪講座等の開催事業	担当課	社会教育課 社会教育係
事業目的	石橋をはじめとする多種多様な文化財を活用し、郷土の歴史・文化に対し理解と関心が高まるよう歴史探訪講座(生涯学習講座)や説明会・研修会を開催する。		
活動内容	石橋を中心に5回の講座を開催した。 第1回:『熊本地震で被災した指定文化財二俣福良渡(石橋)の解体・復元』 受講者24名 第2回:『通潤橋について』 受講者14名 第3回:『文化的景観から石橋の保存と活用を考える』 受講者18名 第4回:『石橋がしこにあるわけ』 受講者16名 第5回:『続・熊本地震で被災した指定文化財二俣福良渡(石橋)の解体・復元～施工・監理段階の技術的視点から』 受講者12名		
予算額 決算額	予算額 30,000 円	決算額 30,000 円	
担当課 自己評価	美里町の歴史をより深く理解する機会の提供を行っている事業と考えている。また、石橋をはじめとする多種多様な文化財を住民の方々に理解して頂き、文化財保護への意識を高めてもらうことに有効だと考えている。		
(外部評価委員の意見) ・地域の埋もれた文化財を発掘し、広く町民に知らせるような講座の開催もお願いしたいと思います。少しの事業費の増額も必要であると考えます。 ・郷土の歴史・文化に対し、理解と関心を高めるための取組みであり、地道に継続することが大切。 ・「石橋」をテーマにした講座は、時宜を得た企画だった。 ・町の歴史を学ぶと共に、文化財を保護していくには、必要な事業であるが、30,000円の予算では厳しいと思います。 ・歴史探訪講座は住民が地域の歴史を知り、地域に誇りをもつために有効な講座であると考えます。しかしながら、生涯学習講座の中の一つの講座だけで事業評価するのではなく、生涯学習講座全体の事業意図を明確にしながら評価することが必要ではないかと思います。			
外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了		
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了		

平成29年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	美里町文化協会補助金事業	担当課	社会教育課 社会教育係
事業目的	町内各文化関係団体相互の連絡調整を図るとともに、本町文化振興に寄与する。		
活動内容	年1回の主催事業の実施と文化祭を開催した。主催事業については年2回実施し、1回目は七夕コンサートを公演し、約368名の方々が観覧された。 2回目の主催事業については、「すかんぽ」を招聘し、約100名の方々が観覧された。 文化祭については、所属サークル56団体が展示の部、ステージ発表の部に分かれて開催。展示の部については文化の日の1週間前から作品の展示を行い多くの町民が来場した。発表の部については文化の日に開催し、終日賑わった。		
予算額 決算額	325,000 円	決算額	325,000 円
担当課 自己評価	会員皆さんの協力により、当初の計画通り、文化祭及び主催事業を実施することができたことは、評価できていると考えている。 総会資料を精査した結果、予算については適正に執行されており、行事等多岐にわたり、事業の目的達成のために活動されている。予算額の大部分を会費・補助金が占めており補助金については現状維持が望ましい。		

(外部評価委員の意見) ・主催事業、展示の部、発表の部等施設の有効利用がなされ、サークル活動も盛んにやられており、今後もこのままで運営できるものと思います。 ・町民の自主的な文化活動を支援する取組みとして現状の継続が望ましい。町文化祭の観覧呼びかけに関しては今のままで良いのか改善すべき。 ・町の文化振興のために寄与されていることは、評価できていると思います。更なる、創意工夫をお願いしたい。 ・町民が文化的な活動をすることに支援していくことは、心豊かな町づくりとして必要なことであると思います。	
--	--

外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

事務事業外部評価点検・評価項目

番号	担当係	事業名	事業内容	決算額
1	社会体育係	第26回 美里町ナイター陸上競技記録会 (委託料)	参加者相互の交流と連帯を深め、自己の体力を養いスポーツの基礎である陸上競技の技術を身につけ、少しでも高い記録に到達できるよう挑戦することを目的に実施。	269,099
2	社会体育係	第32回 中学校野球美里大会 (補助金)	中学生の健全な精神と身体の発達を期し、スポーツマンシップの高揚と技術の向上を図るとともに、近隣中学校との親睦を深めることを目的に実施。(宇城管内から10チーム参加)	149,528
3	社会体育係	第14回町民体育祭 (町体育協会予算)	広く町民にスポーツを普及し、健康増進とスポーツ精神の高揚を図り、併せて明るく豊かな町づくりに寄与することを目的に実施。(球技の部11支部・陸上の部11支部対抗) (9月下旬から各種球技大会。体育の日前日：陸上の部)	563,452
4	社会体育係	第14回美里町駅伝競走大会 (町体育協会予算)	町民の健全な精神と体力の向上を図り、長距離選手の育成と連帯性ある町づくりに寄与し、併せて郡市対抗駅伝競走大会の選手選考を兼ねて実施。(10支部14チーム参加)	335,792
5	社会体育係	第47回 美里町新春霊台橋マラソン大会 (委託料・他)	走ることにはすべての運動の基礎であり、体力づくりや健康づくりに欠かせないもので、幼年から高齢者に至るまですべての人に適切な運動である。新春にふさわしく、家庭の「ふれあい」と地域仲間の連帯性を深めることを目的に実施。 (町内参加者:81名・町外参加者:301名 計382名)	231,898
6	社会体育係	第38回宇城中学校新人駅伝大会	中学生の健全な精神と体力増強をめざし、各学校独自の工夫がそれぞれなされ取り組みられている。こういった中でスポーツでも一番苦しいとされている駅伝大会を計画し、スポーツマンシップの高揚と宇城管内の中学生の親睦を深め、冬季トレーニングの成果発揮の場として実施。(宇城管内10校、男子18チーム:女子16チーム参加)	96,926

平成29年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	第26回美里町ナイター陸上記録会	担当課	社会教育課 社会体育係
事業目的	参加者相互の交流と連帯を深め、自己の体力を養いスポーツの基礎である陸上競技の技術を身につけ、少しでも高い記録に到達できるよう挑戦することを目的に実施。		
活動内容	「美里町陸上競技協会」に委託し、7月30日(日)・美里町総合公園グラウンドにおいて、トラック競技24種目、フィールド競技3種目に町内外より述べ278名(小学生51・中学生212名・高校生11名・一般4名)参加した。29年度は、沢田修先生(帯山中学校教諭 熊本県中体連陸上競技専門部長)を講師に招いて陸上教室を開催した。 ※参加費なし ※予算支出用途(施設使用料・消耗品費・講師謝礼・仮設照明料等)		
予算額 決算額	270,000 円	決算額	269,099 円
担当課 自己評価	小中学生の練習の成果を発揮する場として有効と思われる。 特に、中学生にとっては9月に開催される中体連に向けて、個人の实力を知る恰好の機会であり意識の高揚にも繋がると考えるが、午後の暑い時間帯での開催であるため、熱中症等による体調管理が心配されることから、開始時間等の検討も必要と考える。		

(外部評価委員の意見)

- ・酷暑の中での開始時刻の問題もあり、小学生と高校生では講師の指導内容も異なると思われるので、対象から小学生を抜いてもよいのではないかな。
- ・名称にナイターとなっているが、午後の暑い時間帯での開始時間等を検討するより、午前中の開催はできないのでしょうか。
- ・近年の異常な暑さを考慮する必要があるのではないかな。最低でも、開催時間の繰り下げ。開催時期の再考も。
- ・熱中症対策等に充分配慮し行っていただきたい。高校生、一般の参加が少なく競技種目の見直しも検討するべきではないかな。
- ・誰でも参加でき、講師の方の指導を聞いて、自己記録の更新に挑戦することができるものと思います。なお、実施時間を良く検討し、実施される様をお願いしたいと思います。

外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

平成29年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	第32回中学校野球美里大会	担当課	社会教育課 社会体育係
事業目的	中学生の健全な精神と身体の発達を期し、スポーツマンシップの高揚と技術の向上を図るとともに、近隣中学校との親睦を深めることを目的に実施。		
活動内容	「美里町中学校野球実行委員会」に補助金を支出し、9月9・10日(土・日)の2日間、美里町総合公園グラウンド、町営球技場において、中体連後の新人戦として宇城管内の中学校から、10チームが参加して行う。 ※参加費 8,000円/チーム(64,000円)は、運営費に充当。 ※予算支出用途(審判料・メダル・消耗品費・審判員弁当代等) ※結果 優勝(鶴城中) 準優勝(豊野中)		
予算額 決算額	予算額 150,000 円	決算額 149,528 円	
担当課 自己評価	中体連後、夏休みの練習成果を試す有効な大会と思われる。また、前々回より参加校を宇城管内のみに見直して実施している。 予算的には参加費(8,000円/1チーム)を徴収しても現額で適正と考える。		

(外部評価委員の意見)

・実行委員会の意向や担当教師の状況が分からないが、中学校の部活動についても教師の負担軽減が国レベルで示されている。担当教師の負担が大きい状況であれば、以前からやっていたという慣例にとらわれることなく、小さな町が無理に実施することはないのではないかと思います。

高齢化率が県で3位の本町で、社会体育の役割として今後重要なことは、町民の健康づくりのための体力向上策であると考えます。マンパワーも含めて町民の健康づくりのための事業に予算を増やしていくべきではないか。

・事業目的にもありますが、近隣中学校との親睦を深めるために、合同練習も行ったら良いと思います。

・単独チーム編成が難しい本町の中学校にとって、2校合同チームで参加できる機会を確保する意味でも有意義ではないか

・近隣中学生徒と親睦を深める良い機会だと考える。トーナメント戦ということで、日程、会場、審判などの問題もあるが、初戦敗退チーム同士の練習試合も是非考えていただきたい。

・宇城管内の中学校のみの参加ということで、チーム数からして試合運びがスムーズになされてきている。また、生徒達にとって、新人戦の成果を試す良い機会であると思います。

外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

平成29年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	第14回町民体育祭	担当課	社会教育課 社会体育係
事業目的	広く町民にスポーツを普及し健康増進とスポーツ精神の高揚を図り、併せて明るく豊かな町づくりに寄与することを目的に実施。		
活動内容	9月20日(水)から10月5日(木)の間、美里町総合公園グラウンド・カントリーパークグラウンド・町営球技場・美里町総合体育館・砥用中体育館において開催した、球技の部(4種目・11支部)に述べ約696人、10月8日(日)美里町カントリーパークグラウンドで開催した陸上の部(11支部参加)に述べ1,961人、合計2,657人が参加した。 ※参加費なし ※予算支出用途(施設使用料・種目協会運営費・消耗品費等) ※結果 球技の部 優勝(釈迦院川支部) 2位(都原支部) 3位(南部支部) 陸上の部 優勝(三溪支部) 2位(都原支部) 3位(南部支部)		
予算額 決算額	予算額 600,000 円	決算額 563,452 円	
担当課 自己評価	事業目的達成のためには意義ある大会であると思われる。2年ぶりの開催であったが、参加人員も例年と変わらず、今後も支部の再編及び幅広い年代が参加出来るよう種目等の見直しも必要と考える。		

(外部評価委員の意見) ・幅広い年代が参加しやすい体制づくりを今後も留意していただきたい。 ・今年は、台風の影響で中止になり残念でした。以前からの課題である、支部の編成を望みます。 ・少子高齢化がすすみ、参加種目等の見直し作業など、目的達成のため努力されている。 ・担当課の評価にもあるが、参加した町民が楽しめるような種目を考えていただきたい。得点種目以外で支部同士の親睦を深めれるような種目があっても良い。 ・町民自らの参加が求められますが、選手の把握・選定が一段と難しく、一部の人の参加に留まっている。誰でも気軽に参加できる種目づくりが求められると思います。	
--	--

外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

平成29年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	第14回美里町駅伝競走大会	担当課	社会教育課 社会体育係
事業目的	町民の健全な精神と体力の向上を図り、長距離選手の育成と連帯性のある町づくりに寄与し、併せて郡市対抗駅伝競走大会の選手選考を兼ねて実施。		
活動内容	「美里町陸上競技協会」に委託し、12月10日(日)町内駅伝コース(14区間・全長27.4km、コース一部変更)において、町内10支部より14チームが参加して実施。 ※参加費なし。 ※予算支出用途(区間賞メダル・ゼッケン・役員弁当代等) ※結果 優勝(浜戸川右岸) 2位(畝野支部A) 3位(西部支部)		
予算額 決算額	予算額 356,000 円	決算額 335,792 円	
担当課 自己評価	町民の関心も高く地域の連帯感を醸成するのには効果があると思われる。 また、郡市対抗駅伝大会の選手選考の良い機会と考える。 災害復旧工事によりコースを一部変更して開催したが、今後も中継所の見直しを含め事故防止については十分検討し配慮したい。		

(外部評価委員の意見) ・事業実施にあたっては、地域による人の減少の差などもあることから、勝負にこだわりすぎることなく安全に実施することに留意していただきたい。 ・事故がおきない様に、安全面で特に注意してほしい。選手条件の緩和をするより、支部の編成をお願いしたい。 ・コースの安全性を十分に確保しこれからも継続してもらいたい。選手集めが大変ではあるが、選手条件を緩和し、参加のない支部についても参加呼びかけをお願いしたい。 ・支部対抗で、選手層の厚いところ薄いところ支部では、選手の把握・選定に苦労されているところもありますが、参加することで地域住民の連帯感を育むものと思います。	
--	--

外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

平成29年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	第47回美里町新春霊台橋マラソン大会	担当課	社会教育課 社会体育係
事業目的	走ることは全ての運動の基礎であり、体力づくりや健康づくりに欠かせないもので、幼年から高齢者に至るまで全ての人に適切な運動である。新春にふさわしく家庭の「ふれあい」と地域仲間の連帯性を深めることを目的に実施。		
活動内容	「美里町陸上競技協会」に委託し、1月1日(日)美里町総合運動公園グラウンド発着コース(13種目・男女年齢別)において、町内外より382人(内町内81人)が参加して実施。 ※参加費 高校生以上1,000円/人(※192人=192,000円) 小中学生500円/人(※166人=83,000円) 未就学児(無料)※24人 合計275,000円(前年比7,000円減) ※参加費は、町一般会計に収納。 ※予算支出用途(参加賞・メダル・賞品・ゼッケン・インク・婦人会接待費等。)		
予算額 決算額	予算額 270,000 円	決算額 231,898 円	
担当課 自己評価	町内帰省中の参加者や毎年楽しみにされている町内外からの参加者等もあり町のPRには効果があると思われる。しかし、大会運営上、年末から年始にかけての準備・大会となり、期日の変更等についての声も聞こえるため、関係団体等と協議を行っているがどんど祭りや熊日駅伝等恒例行事が開催されるため、期日の変更は困難と思われる。		

(外部評価委員の意見)	
・アンケート結果等から参加者には好評とのこと。今後の協力されている関係団体の状況から、いつまでも今の実施体制で行っていくことは困難になってくるのではないかと考えられる。実施体制については長期的な視点をもちながら検討していくことが必要ではないか。 ・元旦の開催は変更してほしい、と言う声を多く聞くのに変更が困難と言われるのには、理解できません。 ・大会運営が大変ではあるが、これからも恒例行事として継続していただきたい。 ・アンケートも実施されて元日でも良いという意見があったとのこと、故郷に帰ってからの大会に参加でき、時期としては、担当係り及び婦人会の方々にご苦労とは思いますが、これからも実施をお願いしたいと思います。	

外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

平成29年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	第38回宇城中学校新人駅伝大会	担当課	社会教育課 社会体育係
事業目的	中学生の健全な精神と体力増強をめざし各学校独自の工夫がそれぞれなされ取り組まれている。こういった中でスポーツでも一番苦しいとされている駅伝大会を計画し、スポーツマンシップの高揚と宇城管内の中学生の親睦を深め、冬季トレーニングの成果発揮の場として実施。		
活動内容	2月25日(日)町内駅伝コース(男子・6区間・18km)(女子5区間・12km)において、宇城管内の中学校より男子18チーム(中央中・砥用中各2チーム)、女子16チーム(中央中・砥用中各2チーム)が参加して実施。 ※参加費なし。 ※予算支出用途(レプリカ・メダル・ゼッケン・インク・役員弁当代等) ※結果 男子 優勝(松橋中A) 2位(不知火中A) 3位(小川中A) 女子 優勝(松橋中A) 2位(鶴城中A) 3位(砥用中A)		
予算額 決算額	予算額 97,000 円	決算額 96,926 円	
担当課 自己評価	新チームになって冬季の練習の成果を試す良い機会と考える。 安全面については、事故等が発生しないよう十分配慮したい。また、大会開催の経緯等を考慮しながら、大会参加費の徴収についても検討したい。		

(外部評価委員の意見)	
・陸上に取り組む中学生にとってはよい機会であるが、高齢化率県3位となった小さな町が現状としてやらなければいけないことか、関係者の意見も聞きながら検討していくことが必要ではないか。 ・毎年楽しみにしています。周回コースのため応援もしやすく、安全性も高く、良い大会だと思います。 ・大会参加費の徴収により、活動内容の充実が図られると考える。 ・交通状況等を把握し、事故のないように計画してほしい。生徒同士の親睦が深まるような大会にしてほしい。 ・今後新しい2、3年生として活躍される場を設けられており、冬場の練習で他のチームとの競い合いが、求められる良い機会であると思います。	

外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了